

TAKAE Press



2017
春



The Democratic Party
愛参7区版 号外
民進党 民進プレス編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
メール press@minshin.or.jp
URL https://www.minshin.or.jp

発行日 / 2017年4月15日発行
• 通常号 定価1部100円(税込)
• 年間購読料 3,000円(送料含む)

発行所 / 民進党愛知県参議院選挙区第7総支部 参議院議員 伊藤たかえ事務所
[愛知事務所] 〒456-0002 愛知県名古屋市中区金山町1-5-3 トーフ金山ビル7F TEL 052-683-1101 FAX 052-683-1102
[国会事務所] 〒100-8962 東京都千代田区永田町2丁目1-1参議院議員会館1008号室 TEL 03-6550-1008 FAX 03-6551-1008

公式ホームページ

www.itoutakae.info



平成29年1月20日より、会期を6月18日までとする、第193通常国会が召集されました。

補足解説

【※1】内閣府子ども・子育て本部が行う「企業主導型保育事業」では、平成29年度に限り、企業内託児所を新設する企業やNPO等に費用助成を行っています。
例)12名の施設の場合、整備費で最大8千万円、運営費で年間2千6百万円、定員の半額までは地域に開放でき、1社単位ではなく複数社の共同設置も可能。
詳しくは内閣府ホームページ
<http://www8.cao.go.jp/shoushushinseido/outline/gaiyo.html>

【※2】国土交通省が「都市公園の占用」という形で、公園の中にも保育所を新たに建設できるよう規制緩和したことで、平成29年4月以降、15保育園1,200名の園児受け入れを実現。

【※3】愛知県内では、保育見守りロボットが、保育士に代わって園児を非接触で検温したり、お昼寝中の呼吸を確認したり、業務負担の大きい手書きの日誌記録を代行したりと、保育士が本来の業務に集中できる環境を創ることを目的として、実証実験が始まっています。

待機児童問題については今、厚生労働省、文部科学省のみならず、内閣府(※1)や、一見この問題とは関係ないように思える国土交通省(※2)までもが知恵を絞っています。総務省においても、女性活躍推進費の名目で「マイナンバーカードに女性の旧姓併記をする為のシステム改修費に100億円」等といった外れなものではなく、認可保育園設置の障壁になっている、自治体の財源や保育士の待遇、建設地近隣住民の理解促進等、本丸の課題に向き合えるのがまさに総務省なのだから!という訴えや、保育士不足のもう一つの原因とも言われている業務負荷の課題に対して、総務省の切り口(例えばIoT(あらゆるモノがネットと繋がる)の観点)で施策は考えられないのか(※3)など、高市大臣にご所見を伺いました。

”**保育園落ちた**”
当事者のひとりとして
平成29年3月9日
総務委員会 大臣所信に対する質疑



参議院議員 伊藤たかえ



4月11日 総務委員会



「日比プラン」の推進



民進党青年局副局長



3月9日 総務委員会

消費者庁「徳島県移転」の必要性を問う

平成29年3月21日

森友学園問題同様、あらゆる流れに道理がたっていない今夏の消費者庁「徳島県移転」。5.5億円もの予算を割いているにも関わらず、消費者にもたらす具体的なメリットも、行政機能向上の道筋も、まるで見えてきません。

徳島県は消費生活センター設置率、消費生活相談員配置率、あつせん率等どれも全国平均を大きく下回っており、あらゆる消費者団体や弁護士会も、こぞつて移転に反対しています。

消費者行政において「全省庁の司令塔機能を果たさねばならない」消費者庁には、他省庁や国会と同一地区で、且つ関係団体や専門家の知見と連携出来る環境が何より大切です。この移転は本当に必要なのか?引き続き松本大臣の見解を伺って参ります。

食物アレルギーから子ども達を守る為に

食物アレルギーの有症率は年々上昇しています。1歳未満の乳児期での食物アレルギーの有症率は5〜10%。多い年で年間6人もの赤ちゃんが離乳食を食べた際の、食物アレルギーによるアナフィラキシーショックで亡くなっています。4年半前には給食で出された粉チーズによつて少女が亡くなる事故も起こりました。子ども達の命を守る為、食物アレルギーのスクリーニング検査導入の必要性を訴えました。



3月21日 消費者問題に関する特別委員会

今夏より開始の「子育てワンストップサービス」にはSNS連携を

平成29年4月11日

マイナンバー(マイナポータル)では、行政サービスの検索や電子申請が出来る他、プッシュ通知も受け取れます。しかしその使い勝手の悪さから実際の利用者は全国で2,343人(4月9日現在)に留まっています。夏以降、子育てに特化した「子育てワンストップサービス」が開始される際には、LINEやYahoo!等のSNSやポータルサイトとの連携を検討し、その際、UI(操作している画面)はそのまま、データ処理はマイナポータルに自然遷移して行う、いわゆるダブルオペレーション方式にする等、安全性と利便性を両立する施策の必要性について意見を述べました。

ファミサポ(ファミリーサポート事業)の責任の所在はどっち?

有償ボランティアとして、子どもを預かって下さったり、送迎を手伝って下さったりと、子育て世代の強い味方「ファミサポ」は平成6年の発足から増加を続け、現在809の市区町村(平成27年度)にあり、交付金の費用負担割合は国、都道府県、市区町村が1/3ずつ。依頼の募集や問い合わせは市役所等の窓口の他、広報やホームページでもされていることから、この事業は自治体が行っている安心できるサービスだと多くの人が思っています。しかし実際は、何かあった時の責任は全て個人。実際に大阪府八尾市で2010年に起こった生後5カ月の赤ちゃんがうつぶせ寝による窒息と疑われる症状で死亡した事故では、国や自治体の責任は一切問えず、預かっていた女性一人が裁判を経て、和解金を支払うことになりました。このままの仕組みでいい筈がありません。高市大臣に対し、時代に合った抜本的改革を強く求めました。

国会事務所にキッズスペース出来ました



”保育園落ちた”2歳の次女と4歳の長女が、日々走り回っています。厳しいご意見も頂きますが、一方で与野党議員のお孫さんが遊びに来たり、無所属の先生がお子さんのお古のオモチャを携えて来て下さったり、いちごを届けて下さる先生も。何とも不思議な交流が生まれています。

この場所を超党派のキッズスペースとして、また、お母さん達が子連れで要望に来られる場所にしていきます。お近くにお越しの際は是非お立ち寄り下さい。子ども達と一緒にお待ちしております。



interview
子連れ出勤
現場取材記



議員会館に子ども達がいることで、方々から頂くご意見。中でも心を砕くのは「親の勝手でも子ども達が可哀想」という言葉です。悶々していても仕方ないので、代表自ら子連れ出勤をしているというソウ・エクスぺリエンスという体験ギフトカタログ会社に取材に行つて来ました。私の矢継ぎ早の質問に、「子連れって特別ななあ？だって保育園ないんだもん。可哀想かなあ？それは誰にも分からないね！」と自然体で笑う代表を見ていたら、つられて笑ってしまいました。仲間を辞めさせない為に、また新たな仲間をつくる為に子連れ出勤を始めた社長曰く「これは『優しさゆえではなく、厳しさゆえ』この流れは拡がって行くんじゃないかな」と。引き続き、挑戦する人や会社を取材していきます。



information



サポーター募集

伊藤たかえ応援団を大募集中です

サポーター登録を頂いた方には、各種イベントのご案内や活動レポートを送付させていただきます。同封の「サポーター募集のご案内」リーフレットをご確認頂き、お申込み頂ければ幸いです。

お待ちしております！



掲示のお願い

ポスター・立て看板が完成しました

ご自宅や会社、店舗などに掲示を検討頂く場合は、是非ご一報頂きますようお願い申し上げます。事務所スタッフが迅速に参上させていただきます。



屋内ポスター：縦420×横300mm
屋外ポスター：縦841×横594mm
立看板：縦1500×横300mm

後援会よりご案内

「参議院議員伊藤たかえ君を育てる会」開催決定

多くの皆様にお支え頂いた、奇跡の万歳からちょうど1年の7月10日。

後援会として初めて「育てる会」を開催致します。詳細については、下記までお問い合わせください。宜しくお願い申し上げます。

「参議院議員 伊藤たかえ君を育てる会」概要

日時：平成29年7月10日(月)
開場：17:30 開会：18:00～
会場：キャッスルプラザホテル
(名古屋駅徒歩5分)4階「鳳凰の間」



お問い合わせ先 伊藤たかえ事務所 052-683-1101

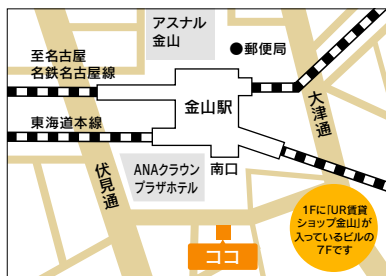
Profile

参議院議員
伊藤 たかえ

1975年(昭和50年)6月30日 名古屋市生まれ。1998年に金城学院大学文学部卒業後、テレビ大阪に入社、2013年株式会社リクルート育休中に金城学院大学非常勤講師着任。2016年参議院議員選挙にて初当選。「子どもを育てる。仕事をする。大切な人を介護する。この当たり前の営みの両立が、こんなに息苦しくない社会を創りたい」との4歳と2歳の女の子の母。

伊藤たかえ事務所

〒456-0002 愛知県名古屋市熱田区金山町1-5-3 トーワ金山ビル7F



TEL 052-683-1101
FAX 052-683-1102
E-mail mail@itoutakae.info

@itoutakae0630 itoutakae
伊藤たかえ 伊藤孝恵

伊藤たかえホームページ
www.itoutakae.info

市議会とのバトンリレー

「要保護児童生徒の就学援助費補助は国が1/2、市町村が1/2しているが、どうして4月以降しか貰えないのか？ランドセルを買うのは入学式の前なんだから、最低でも3月には貰いたい。市町村は国の指導に基づいてやると言っている」と、上園名古屋市議に相談され、文科省に質問主意書を出したのが昨年11月。学校教育法で小学校入学前の子供は「児童」ではなく「幼児」だからという理由で4月以降にしか貰えないことに落胆すると同時に、準要保護児童生徒への就学援助については、市町村の判断で3月支給も可能な事を知りました。この課題感に反応して下さったのは地元犬山の山田市長。準要保護児童生徒への3月支給を即決頂き、それを文科省に報告。中野江南市議にも議会で取り上げて頂き、文科省に共有。愛知で始まった動きに加え、最後は心ある官僚の尽力で、3月31日付で都道府県宛に右の通知文書が発出されました。日く、全員に就学援助費の入学前支給が可能になりました！
政治は想いのバトンリレー。これからも精一杯走り続けます。

